

令和 2年 7月 8日

長野県知事 様

令和2年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和2年度から令和4年度	
会社名	小谷建設株式会社	
住所	〒399-9422 長野県北安曇郡小谷村大字千国乙6735-4	
代表者名	代表取締役 郷 津 順 一 <input type="checkbox"/>	
業 種	製造業 ・ <input type="checkbox"/> 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	総務課	
担当者名	坂本 薫	
連絡先	TEL	0261-82-2310
	FAX	0261-82-3107
	電子メールアドレス	otaken@otaken.co.jp
ホームページアドレス	http://otaken.co.jp	

1 産業廃棄物3R実践方針

- ・ 社内で、現場から発生する産業廃棄物の削減目標を共有する。
- ・ 他現場及び資材倉庫の在庫を確認してから、資材の発注を行い共有できる箇所は共有する。

2 基礎数値の把握

(1) 総排出量の推移 (t)・kg又はm³※採用した単位に○)

平成31分年度	平成30分年度	平成29年度
1285.28	361.2	557.42

(2) リサイクル量の推移 (t)・kg又はm³※採用した単位に○)

平成31年度	平成30年度	平成29年度
371.96	359.26	556.46

(3) 売上高の推移 (円)

平成31年度	平成30年度	平成29年度
306,773,000	492,000,000	480,000,000

(4) 廃棄物処理 (リサイクルするものは除く) に要する費用の推移 (円)

平成31年度	平成30年度	平成29年度
40,896,180	97,000	9,600

※排出抑制に基づく費用軽減の取組みの成果を経年でみます。

(5) リサイクルに要する費用の推移 (円)

平成31年度	平成30年度	平成29年度
7,076,840	1,816,768	4,573,780

3 取組み目標及び過年度実績

※目標値の指標の設定は、協定期間中同じ考え方の指標を継続して使用してください。
 ※協定期間の年度ごとに記載してください。新規の協定締結者は、初年度分のみ記載してください。

(1) 排出抑制のための目標値及び過年度実績値

① 総排出量に関する目標値及び過年度実績値

(総排出量と売上高との相関により、減量化の成果(傾向)をみます。)

ア 総排出量 (t)・kg 又は m³ ※採用した単位に○) / 売上高 (円)

平成31年度 (過年度目標値)	平成30年度 (過年度目標値)	平成29年度 (過年度目標値)
0.000001	0.000001	0.000001

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

平成31年度	対前年比	平成29年度	対前年比	平成28年度
0.000004	471.4%	0.0000007	△40.0%	0.00000116

ウ ア以外の指標による目標設定※

平成 年度 (当年度目標値)	平成 年度 (過年度目標値)	平成 年度 (過年度目標値)

※排出抑制目標値については、総排出量/売上高を基本としていますが、これにより難しい場合や自社で決めている場合は、独自に定める指標により作成してください。その場合、指標の算出方法や考え方について下記に記載してください。また、業務内容別に目標設定を行うことも可能なので、自社の状況に応じて設定してください。その場合、適宜記載欄を追加したり、別添様式(任意)で記載するなどしてください。

独自に指標を定める場合の算出方法・考え方

処分費等は、設計価格及び各処分業者との見積もりに準じる。

エ ウの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

平成 年度	対前年比	平成 年度	対前年比	平成 年度

②廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用に関する目標値及び過年度実績値

（売上高に占める廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用の割合を見ます。）

ア 廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用（円）／売上高（円）×100（％）

令和2年度（過年度目標値）	平成31年度（過年度目標値）	平成30年度（過年度目標値）
0.2%	0.2%	0.2%

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

平成31年度	対前年比	平成30年度	対前年比	平成29年度
13.33%	66,6650%	0.02%	1000.0%	0.002%

③リサイクルに要する費用に関する目標値及び過年度実績値

（売上高に占めるリサイクルに要する費用の割合を見ます。）

ア リサイクルに要する費用（円）／売上高（円）×100（％）

平成31年度（当年度目標値）	平成30年度（過年度目標値）	平成29年度（過年度目標値）
1.0%	1.0%	1.0%

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

平成31年度	対前年比	平成30年度	対前年比	平成29年度
2.31%	624.3%	0.370%	△81.1%	0.953%

(2) リサイクル率目標値 (%)

※リサイクル率は現地確認等で最終的なリサイクルを確認できる数字で記載してください。

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	令和2年度 目標値	平成31年度 実績値	平成30年度 実績値	平成29年度 実績値
コンクリート	100	100	100	100
アスファルト	100	100	100	100
木くず	100	100	100	100
金属くず	100	100	100	100
建設汚泥	100	100	100	100
全 体	100	100	100	100

(3) リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量 (%)

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	令和2年度 目標値	平成31年度 実績値	平成30年度 実績値	平成29年度 実績値
再生砕石 RC-40	100	100	100	100
全 体				

3 産業廃棄物処理責任者等

職	氏 名	職務内容
工務課長	矢口 武志	産業費器物に対しての統括責任者
工務課長補佐	相沢 宏樹	工事現場の産業廃棄物に対しての管理責任者

*必要に応じ管理体制組織図等を添付してください。

4 産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開

・工事着手前、周辺住民の方に工事説明会あるいは現場説明書等で産業廃棄物に関しての情報を伝える。
 ・現場関係者には、新規入場者教育及び安全教育時に、施工計画書・産業廃棄物説明書等伝え、下請業者には告知書等で周知する。

5 産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合のみ）

施設の名称	公開計画の有無	公開計画の概要又は公開計画無しの理由
	有・無	
	有・無	

6 処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画

区分	廃棄物の種類	現地確認計画
中間処理場	コン殻・As殻	各現場の現場責任者が現場毎に1回は処理状況等を確認する
	木くず	各現場の現場責任者が現場毎に1回は処理状況等を確認する
最終処分場		

7 従業員教育（研修）計画

項目	教育（研修）計画内容
現場教育	現場での新規入場者教育及び安全教育時に産廃についての教育を取り入れる。
社内安全大会	社内安全大会及び衛生大会時に全従業員を対象に、産廃についての教育を行い、意識向上に努める。

8 リサイクル促進に向けた取組み（計画段階、実施段階での工夫など）

使用資材は、なるべく余り及び端材を出さないような工夫をして使用するよう計画する。又近接現場で同じ材料を使用する場合、共同で発注し梱包材等のゴミを減らすようにする。
 使用資材は、再利用及び転用出来る様、丁寧に扱う。

9 処理を委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底

不正処理をしたことが判明した場合は、関係機関に連絡をする。
又、不適正処理された廃棄物については撤去・処分を、排出した業者に強く改善を要請していく。

10 他の不適正処理を発見した場合の協力体制

通退勤時及び移動の際に、不適正処理がされていないか従業員に注意喚起して不適正処理を発見した場合は、関係機関に情報提供する。

11 自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合のみ）

12 その他協定の目的達成のため、独自に取り組む事項

※環境認証制度等の取得※、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等を含む。

会社及び現場で3R実施方針を守り、目標達成のために取り組んでいく。
本年度、当社ホームページが完成したので、産廃についても積極的に配信できるよう心掛ける。

*環境ISO 14001、エコアクション21等